



発行 徳島市かちどき橋1丁目41番地 TEL 088-622-8158 FAX 088-626-5411  
URL : <http://www.toku-forest.com/> E-mail : [info@toku-forest.com](mailto:info@toku-forest.com)



祖谷のかすら橋



Contents

新年のご挨拶（県森連・代表理事会長）	2
平成26年年頭ご挨拶（全森連・代表理事会長）	3
平成25年度第1回森林組合役職員（監事）研修会	4
徳島県知事・副知事へ表敬訪問	5



## 新年のご挨拶



徳島県森林組合連合会

代表理事長 杉本直樹

新春を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、お健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃より本会運営につきまして、格段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

わが国の経済は、政府の金融政策や需要拡大などの経済対策の効果もあり、個人消費や公共投資等の国内需要が堅調に推移しており、緩やかに回復していると言われております。この間、世界経済が緩やかに持ち直したこともあり、企業の景況感は改善傾向が続いており、長らく続いたデフレ経済からの脱却も現実味を帯びて参りますので、本格的な景気回復は決して遠くないものと期待しているところであります。

われわれ林業界においても、木材利用ポイント事業の開始に伴い住宅着工戸数が増加したことに加え、昨年末にはCLTと呼ばれる直交集成板が日本農林規格（JAS規格）を制定したことを受け、今後の普及に大きな期待を寄せるとともに、公共建築物等の木造化による木材需要の高まりにも期待しているところであります。

一方、徳島県におかれましては、木材の生産・消費を倍増させる「次世代林業プロジェクト」の取り組みの中で、特に全市町村において策定された「木材利用指針」をさらに推し進めるために「徳島県県産材利用促進条例」が施行されたことをはじめ、昨年11月県議会において、林業飛躍基金へ新たに積み増しをいただくなど、林業振興施策への積極的な取り組みに対しまして、心より感謝を申し上げます。さらには、かねてよりナイスグループの大型製材工場誘致にご尽力いただいた結果、今春には本格稼働が決定するなど、県産材の重要拡大に大きな期待が寄せられており、われわれ森林組合系統としても会員一丸となり、出材要請にこたえていかなければならないと考えております。

また、平成23年度よりスタートしました森林組合系統運動「3rdステージ 国産材の利用拡大と森林・林業再生運動」については徳島県のプロジェクトと整合性を持って組織体制の強化と事業展開に努めるとともに、森林組合広域合併につきましては、現在、第6次基本計画として、平成28年度末5組合体制が計画されておりますが、広域合併を推進することにより、森林組合の資本を集結し、経営基盤の拡充と組織体制の強化に取り組み、効率的な事業展開を図っていくことが、今後、森林組合が生き残っていく上で、非常に有効な手段であると考えております。

本会といたしましても、引き続き国・県・市町村・関係機関等のご指導とご支援を賜りながら、連合会の果たすべき機能と役割を十分発揮し、森林組合の発展に資することができるよう、組織・事業改革に取り組んで参る所存であります。

最後になりましたが、森林組合系統の益々の発展と、組合員の皆様方のご健勝を心から祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。



## 平成26年 年頭ご挨拶

全国森林組合連合会

代表理事会長 佐藤 重 芳



新年あけましておめでとうございます。

平成26年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中、皆様におかれましては、森林組合系統活動に一方ならぬご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、富士山の世界文化遺産登録や、「和食」のユネスコ無形文化遺産登録、2020年の夏季オリンピック・パラリンピックの東京招致の決定など明るい話題もあり、長引いていた不況からの脱却へ期待感が高まっております。

林業においても、木材利用ポイント事業の開始による新設住宅着工戸数の増加などにより、国産材の需要が高まり、国産材原木価格の回復の動きが見られます。また、林業復活・森林再生を具体的に進めるための国民運動の展開に向け、業界を超えた200名程の発起人により「林業復活・森林再生を推進する国民会議」が設立されました。経済界、産業界側からこのような動きがみられることは、林業の発展にとって大きな力になると思われまます。

その他、政策においては、再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT）を活用した木質バイオマス発電事業、木材利用ポイント事業の継続に加え、公共建築物での木材利用の促進、CLT（直交集成板）や耐火集成材等の開発など、国産材利用の拡大に向けて林業界は大きな後押しをいただいています。2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催に向けては、日本の木の文化や木材の良さを国内外にアピールする機会ととらえ、競技場や選手村などの五輪施設の建設への国産材利用も働きかけてまいります。

平成25年度スタートに当たりましては、平成23年度からはじまりました森林組合活動二十一世紀ビジョン3rdステージ「国産材の利用拡大と森林・林業再生運動」を推進するため、「運動推進室」を設置いたしました。

また、具体的な課題の実現に向けて、森林組合系統では、昨年5月に「木材価格プロジェクト実行計画」をとりまとめました。これは県域を超えた広域流通体制の構築や、森林組合系統の持つ「量の力」を活かした価格交渉力の向上等からなる取組を策定したものです。昨年末には、全国協議組織として組織した販売担当ブロック幹事会議を開催し、今年には具体的な実行・実践に向けて取り組んでまいり所存です。また、森林組合に対する期待に応えていくために、事業実施態勢の整備・強化に向けても不断の取組を行って参ります。

一方、昨年は竜巻やゲリラ豪雨等自然災害が頻発し、改めて自然の猛威を痛感したと同時に森林の健全な維持の大切さを感じました。さらに、被災3年目を迎える東日本大震災からの復興と原子力発電所事故による放射線物質汚染被害についても、森林の除染、しいたけ原木の確保等、引き続き支援・取組を続けて参らねばなりません。

午年である本年、野山を力強く駆ける馬の如く、皆様にとり更なる飛躍の1年となりますようご祈念申し上げますとともに、森林組合系統への倍旧のご支援、ご協力をお願いし、新年のご挨拶といたします。

## 平成25年度第1回 森林組合役職員（監事）研修会

日時：平成25年12月25日（水）10時30分～

場所：徳島市 徳島県水産会館（4F会議室）

平成25年12月25日に徳島県水産会館において、森林組合役職員の外、県担当職員も含め、48名の参加を得、「平成25年度第1回役職員（監事）研修会」を開催いたしました。

今回の研修会は、午前中「個人情報等の管理徹底について」、「ハチ毒アレルギーについて」の講義が行われ、特に「ハチ毒アレルギーについて」の講義では、林業従事者にとって身近な問題ということもあり、丁寧な説明かつ練習用エピペントレーナーを使用した対処法をご教授いただきました。その後、人権問題に関するDVDを視聴いただき、午前中の研修を終了しました。

また、午後からは、全国森林組合連合会・監査部から荒井課長をお招きし、「森林組合監事監査について」講義していただきました。研修内容については、①森林組合理事の職務と責務について、②森林組合監事の監査の基本と実務について、③決算書の見方、④事業の収益性、安全性（経営分析）、⑤コンプライアンス態勢の確立について、⑥不祥事の発生防止とコンプライアンスについて、⑦自己評価シート導入の背景、までと、大変多岐にわたっており、どの項目についても、大変分かりやすく説明していただき、研修参加者からは「非常に分かりやすかった」などの声が多く聞かれました。

講義終了後には、参加者から熱心な質問がなされるなど、大変有意義な研修会となりました。



全国森林組合連合会 荒井課長



質疑応答の様子

### □研修会日程

時間	研修内容	講師
10:40～11:00	「個人情報等の管理徹底について」	徳島県森林組合連合会 参事 後藤 尚之
11:00～11:30	「ハチ毒アレルギーについて」	ファイザー(株) 医療推進部 東 智浩氏
11:30～12:00	人権研修 「同和問題と人権」-あなたはどう考えますか-	DVD上映
13:00～16:00	「森林組合監事監査について」	全国森林組合連合会 監査部 課長 荒井 孝氏

## 徳島県知事・副知事へ表敬訪問

平成26年1月6日に、徳島県森林組合連合会役員並びに県下の森林組合長（役員）が一堂に会し、飯泉嘉門徳島県知事を表敬訪問いたしました。

冒頭、杉本会長より、次世代林業プロジェクトの推進等、林業施策に対する積極的な取り組みや林業飛躍基金の積み増しに対して感謝の言葉を述べるとともに、ナイスグループの大型製材工場誘致にご尽力いただき、今春より本格稼働が決定するなど、県産材の需要拡大に大きな期待を寄せるとともに、森林組合系統として、県産材の生産倍増に向け、一丸となり取り組んでいく旨の決意表明を行い、知事には、引き続きご支援・ご指導いただきますようお願い申し上げます。

その後、徳島県林業の今後の展望などについて意見交換がなされ、引き続きご協力いただけるとの心強いお言葉をいただきました。

また、知事訪問後、当連合会の前代表理事専務であります熊谷幸三副知事を表敬訪問し、知事同様、心強いお言葉をいただきました。



飯泉県知事



熊谷県副知事

### 林業退職金共済制度

## ● 林々とした若い力を ●

林退共は、林野庁がすすめる緑の雇用などによる新たな林業の担い手の確保を応援しています。

<お問い合わせは>

徳島県森林組合連合会(088-622-8158)まで



林退共本部HP → <http://www.rintaikyo.taisyokukin.go.jp>

# 人は生まれながらに 「人」として生きる権利を持っています。



国際連合は、1948年（昭和23年）12月10日に「世界人権宣言」を採択し、その主旨は「すべての人間は、生まれながらにして自由であり尊厳と権利において平等である」という内容でした。

1966年（昭和41年）「国際人権規約」を採択、「人権の国際基準」を示し地域紛争や、人権侵害、難民問題が取り上げられる中で、世界が「人権」についてよく考えるようになりました。

1994年（平成6年）の総会において1995年から2004年までの10年間を「人権教育のための10年間」と決議しました。以後、各国において積極的に取り組むよう要求しています。

これを受けて、我々森林組合を含む全国農林漁業団体では「人権問題啓発推進事業」を開始し、継続してこの運動を展開しています。

「人権」は永遠のテーマです。わたしたちは人権について学び、かつて採択した「世界人権宣言」の主旨を次の世代へ引き継がなければなりません。

**私たちの身近にひそむ差別や偏見、  
人権侵害につながる人権課題に対する心構えを常に持ち続けましょう。**

**J Forest**

**全国森林組合連合会  
人権問題普及啓発事業**